①大学（薬・香薬以外）

② 入試区分

Ⅰ期A日程

③ 出題科目

日本史探究

④ 出題の意図

特定の時代や分野に偏らず、通史的に基本事項の理解を確認することを、出題の基本方針とした。
この観点から幅広く古代・中世・近世・近代について、重要な基本事項を出題（問題Ⅰ～Ⅳ）し、加えて、別途文化史分野（問題Ⅴ）を設定した。
また、今日必要とされる世界史的な視野から列島社会の変遷を捉える視点を重視し、とくに古代（問題Ⅰ）と近代（問題Ⅳ）では、この観点で作問した。古代では3世紀および6～7世紀の対外交渉と列島政治史の深い関係を取り上げた。また近代では同じ観点から幕末に締結した不平等条約を取り上げ、その内容とそれの克服に至る過程を軸に出題した。
一方、中世（問題Ⅱ）と近世（問題Ⅲ）は、政治、経済など広い分野から各時代の基本的事項を確認する内容とした。

日本史探究

Ⅰ　次の文章Ａ～Ｃを読み，(1)～(7)の問題に答えよ。

Ａ　どの時代にあっても，国際情勢への対応＝「外交」と，国内課題の解決＝「内政」はまま連動する。したたかな政治指導者たちはしばしば，前者を内政上の政治課題を解決する機会とみなして，利用する。

紀元３世紀半ば，邪馬台国の女王卑弥呼は［　①　］が朝鮮半島の北部に進出した機会に通交を求め，［　①　］から［　②　］の称号を得た。当時の日本列島は多くの「国」に分かれ，邪馬台国はそのなかの有力な一国であった。卑弥呼の外交は，国際情勢の変化に敏感に対応したものだが，この機会に［　①　］から邪馬台国女王が倭人種族の代表と位置づけられたことの意味は大きい。これによって列島諸国に対する彼女の政治的威信と指導力がいっそう高まったであろうことは疑いない。

(1)　空欄①にあてはまる適切な国名を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）前漢，　イ）後漢，　ウ）魏，　エ）宋，　オ）北魏

(2)　空欄②にあてはまる適切な語句を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）漢倭奴国王，　イ）倭面土国王，　ウ）親魏倭王，

エ）安東将軍倭国王，　オ）日本国王

Ｂ　６世紀の終わりに中国で統一王朝［　③　］が成立すると，厳しく対立し抗争を重ねてきた朝鮮半島の諸国は他を圧倒するため，競って対［　③　］外交に励んだ。少し遅れて，半島の情勢に重大な関心を抱いてきた倭国も，対［　③　］外交に取り組む。しかし600年の最初の交渉はどうやら不首尾に終わったらしい。607年の２回目の交渉では，翌年［　③　］使が倭国を訪れるなど一定の成果を挙げた。

ところで２度の交渉の間に［　④　］大王の下で重要な政治改革が進められた事実は興味深い。603年の［　⑤　］制定は朝廷に参集する豪族た

ちを序列化する試みであり，やがては律令制度下の精緻な官位制度に発展するものであった。また翌604年の［　⑥　］は仏教思想をベースに，朝廷を支える豪族たちに対してあるべき王と臣下の関係を説くものであった。難しい対外交渉の舵取りと連動するように，朝廷の機構を整える第一歩を始めたことは偶然ではあるまい。

(3)　空欄③にあてはまる適切な国名を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）北斉，　イ）隋，　ウ）唐，　エ）北宋，　オ）元

(4)　空欄④にあてはまる適切な大王の名を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）欽明，　イ）敏達，　ウ）推古，　エ）舒明，　オ）孝徳

(5)　空欄⑤・⑥にあてはまる適切な語句を次の中からそれぞれ一つずつ選び，記号で答えよ。

ア）官位相当制，　イ）憲法十七条，　ウ）八色の姓，　エ）改新の詔，
オ）冠位十二階

C　660年代，［　⑦　］の武力介入もあって朝鮮半島三国の厳しい対立と抗争は最終局面を迎えた。この段階に至って倭国は無謀にも半島に出兵したが，663年白村江で［　⑦　］と［　⑧　］の連合軍に大敗を喫した。

この後［　⑦　］・［　⑧　］の列島侵攻を恐れ，九州北部から瀬戸内海の沿岸各地に20ヶ所以上の朝鮮式山城を築くなど防衛体制を急ぎ固めた。築城に要する多大な労働力の確保，兵士の動員と配置，武器や食料の備蓄を必要とする広域的で統一的な防衛体制の確立には朝廷の強い指導力が欠かせない。この時期，筑紫大宰のように，広い地域を監督する行政官を中央から各地に派遣し始めたらしいこともこの一環とみられる。防衛体制の整備は地方支配の強化を伴うものであった。

ところが670年代初期には，半島において［　⑦　］と［　⑧　］は対立を深め，二国が協調して列島に侵攻する懸念は早くも薄れていた。その後［　⑦　］は朝鮮半島から撤退する。しかし少なくとも８世紀初頭に体

系的な［　⑨　］を制定し施行する時期まで，朝鮮式山城を軸とした防衛体制が維持されていたことが史料からうかがわれる。こうした経過からも，ことさらに強調した対外危機をテコに，内政上の課題，すなわち中央集権的な統治機構の整備を推し進めたことが読み取られる。実にしたたかな政治指導者の姿がここに浮かび上がってくる。

(6)　空欄⑦・⑧にあてはまる適切な国名を次の中からそれぞれ一つずつ選び，記号で答えよ。

ア）北斉，　イ）隋，　ウ）唐，　エ）北宋，　オ）新羅，　カ）百済，
キ）高句麗

(7)　空欄⑨にあてはまる適切な法令を漢字で正しく答えよ。

Ⅱ　次の文章Ａ・Ｂを読み，(1)〜(6)の問題に答えよ。

Ａ　源頼朝の妻として知られる北条政子は，頼朝の死後，後家となったときから，若き新将軍の母として将軍の後見となり，弟の義時とともに宿老の合議制を発足させた。このような政子の権力は，当時の武家社会一般にみられた後家の権限にもとづくもので，後家が夫の財産を管理し，家長の地位に就くことは少なくなかった。慈円は，史書［　①　］のなかで，「鎌倉ハ将軍ガアトヲバ，母堂ノ二位尼総領（にいのあまそうりょう）シテ，猶セウト（弟）ノ義時右京権大夫（うきょうのごんのだいぶ），サタシテアルベシト議定シタルヨシキコヘケリ」と記している。これは1219年，鎌倉幕府の三代将軍［　②　］が暗殺されたのち，頼朝の後家である政子が将軍家の家長として幕府の政治をにない，それを弟の義時が補佐したことを指している。1221年に［　③　］が義時追討の兵をあげた承久の乱では，政子のよびかけが御家人たちを幕府方に結集させたことは有名であり，［　③　］の軍を迎え撃つか，進軍して戦うかで意見が分かれたとき，進軍を決断したのも政子であった。また老齢となった政子が，道理にもとづく公平な政治をおこなったとされる［　④　］を，自身の後継者として選んでいたことも特筆される。武家政治の基礎を確立するのに，政子は大きな役割を果たしたといえる。

(1)　空欄①にあてはまる書物名を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）梅松論，　イ）神皇正統記，　ウ）愚管抄，　エ）平家物語，

オ）吾妻鏡

(2)　空欄②にあてはまる人物を次の中から一人選び，記号で答えよ。

ア）源実朝，　イ）源頼家，　ウ）源範頼，　エ）九条頼経，

オ）源頼政

(3)　空欄③にあてはまる人物を次の中から一人選び，記号で答えよ。

ア）崇徳上皇，　イ）後白河上皇，　ウ）後醍醐天皇，

エ）後鳥羽上皇，　オ）後嵯峨上皇

(4) 空欄④にあてはまる人物と関わりが深いできごとを次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）金沢文庫を創設し，和漢の書籍を集めた。

イ）連署の職をおき，北条氏一門の有力者をこれに当てた。

ウ）朝貢を求めた元の要求を拒否し，外交問題に奔走した。

エ）安達泰盛一族を討ち，御家人勢力を制圧した。

オ）北条政子とはかり，比企能員をほろぼした。

B　畠山・斯波の両管領家に家督紛争がおこり，将軍家でも足利義政のあと継ぎをめぐる争いがおこった。幕府の実力者であった細川氏と山名氏がこれらの争いに介入したため対立が激化し，1467年，ついに応仁の乱が始まった。この戦いは京都を中心に11年間続き，都は軽装の傭兵である［　⑤　］の乱暴もあって戦火に焼かれ，荒廃した。応仁の乱により，有力守護が在京して幕府の政務を分担する幕府の体制は崩壊し，守護大名たちは領国へくだったが，その領国支配の実権は，守護代や領国内の家臣に奪われるようになった。このように，下の者が上の者にとってかわる風潮は［　⑥　］とよばれる。

(5) 空欄⑤にあてはまる言葉を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）家人，　イ）国人，　ウ）悪党，　エ）寄子，　オ）足軽

(6) 空欄⑥にあてはまる言葉を，漢字で正しく答えよ。

Ⅲ　次の文章Ａ～Ｄを読み，(1)～(6)の問題に答えよ。

Ａ　井伊直弼のあと幕政を担当した老中安藤信正は，公武合体策をとり，孝明天皇の妹和宮と将軍家茂との結婚を実現した。

Ｂ　浅間山噴火や冷害によって大飢饉がおこり，百姓一揆や打ちこわしが相次ぐなか，田沼意次の権勢は衰えた。

Ｃ　徳川秀忠は，娘の和子（東福門院）を後水尾天皇に入内させ，朝廷内部に勢力をのばした。

Ｄ　海路の整備が進められ，陸奥荒浜から江戸までの東廻り航路と，出羽酒田から大坂を経て江戸にいたる西廻り航路が整備された。

(1)　文章Ａに関連して，この結婚に反発する水戸藩の浪士らがおこしたできごとを次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）生麦事件，　イ）桜田門外の変，　ウ）寺田屋事件，
エ）坂下門外の変，　オ）禁門の変

(2)　文章Ｂに関連して，田沼時代の本草学者で，寒暖計やエレキテルをつくるなど多才で知られた人物を次の中から一人選び，記号で答えよ。

ア）伊能忠敬，　イ）最上徳内，　ウ）杉田玄白，　エ）前野良沢，
オ）平賀源内

(3)　文章Ｃに先立ち，幕府は天皇・公家が守るべき心得や朝廷機構のあり方を定めたが，この法令名を漢字で正しく答えよ。

(4)　文章Ｃの後，後水尾天皇は幕府の同意をえることなく退位したが，このきっかけとなるできごとを次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）慶安の変，　イ）明和事件，　ウ）紫衣事件，　エ）島原の乱，
オ）赤穂事件

(5)　文章Ｄに関連して，東廻り航路・西廻り航路を整備した江戸商人の名を漢字で正しく答えよ。

(6)　文章Ａ～Ｄを年代順に並べよ。

Ⅳ　次の史料（枠内）は安政５（1858）年に締結した日米修好通商条約の一部である。この条約の内容および締結後の展開に関する(1)～(5)の問題に答えよ。

史料

第三条

下田，箱館港の外，次にいふ所の場所を左之期限より開くべし

神奈川　午三月より凡十五ヶ月の後より　西洋紀元千八百五十九年七月四日

長崎　同断

新潟　同断　凡二十ヶ月の後より　千八百六十年一月一日

①　同断　凡五十六ヶ月の後より　千八百六十三年一月一日

若(も)し新潟港を開き難き事あらば其代りとして同所前後に於て，一港を別に撰(えら)ぶべし

神奈川港を開く後六ヶ月にして下田港は鎖すべし，此ヶ条の内に載たる各地は亜墨利加(あめりか)人に居留を許すべし（下略）

第四条

総て国地に輸入輸出の品々，別冊の通，日本役所に運上を納むべし（下略）

第六条

日本人に対し，法を犯せる亜墨利加人は，亜墨利加コンシユル裁断所(さいだんしょ)にて吟味の上，亜墨利加の法度(はっと)を以て罰すべし，亜墨利加人へ対し，法を犯したる日本人は日本役人糺(ただし)の上，日本の法度を以て罰すべし　（下略）

注　コンシユル：領事

出典『幕末外交文書』

(1) この条約に引き続きイギリスなど４ヶ国とも同様の条約を結んだ。これらをまとめて「安政の五ヶ国条約」と呼ぶ。条約を締結した５ヶ国を，次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）アメリカ　イギリス　プロシア　フランス　ロシア

イ）アメリカ　イギリス　オランダ　フランス　ロシア

ウ）アメリカ　イギリス　スペイン　オランダ　フランス

(2) 史料第三条の空欄①はとくに朝廷の抵抗が強く，条約で取り決めた期限までに開港できなかった。空欄①にあてはまる適切な地名を漢字で正しく答えよ。

(3) 下関砲撃事件の賠償や空欄①の開港遅延などを口実に，慶応元（1865）年，列国は軍艦を大阪湾に回航して幕府・朝廷に圧力をかけた。これにより朝廷も空欄①の開港などを認めた。さらに翌年，幕府は上記史料第四条の「別冊」の取り決めよりも，関税率などの点で不利な協定をあらためて結ばざるをえなくなった。この慶応２（1866）年の新たな協定文書を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）改税約書，　イ）ロンドン覚書，　ウ）パリ覚書，　エ）日米協約

(4) 史料中の第六条は領事裁判制度を定めたもので，後の条約改正交渉で焦点の一つとなった。明治19（1886）年の日本人乗客多数が犠牲となった海難事故をめぐる領事裁判では，イギリス船の船長などに不当に軽い判決が下された。当時世論の激昂を招いたこの事件を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）モリソン号事件，　イ）フェートン号事件，

ウ）ノルマントン号事件，　エ）生麦事件，　オ）大津事件

(5) 領事裁判権の撤廃と関税自主権の回復は明治政府の重要な外交課題であった。長年交渉を重ねた結果，領事裁判の撤廃は①の時期に実現し，関税自主権の回復は②の時期に完了した。

①，②の時期として適切なものを次の中から，それぞれ一つずつ選び，記号で答えよ。

ア）西南戦争など一連の士族反乱の鎮圧後

イ）大日本帝国憲法の制定直後

ウ）日清戦争開戦の直前

エ）日露戦争前の日英同盟締結時

オ）日露戦争後

カ）第一次世界大戦終結後

V　文化史では各時期の特徴をつかんで区分し，中心となった時期の年号，中心地域や場所などを冠して何々文化と呼ぶ。このような文化区分について述べた次の文章Ａ～Ｅを読み，(1)～(6)の問題に答えよ。

Ａ　主に唐初期の文化的影響を受けた７世紀後半から８世紀初頭の文化を［　①　］文化といい，この時期の代表的な遺品に［　②　］などがある。

Ｂ　将軍足利義政が築いた京都の［　③　］山荘を中心に，武家，公家，禅僧らの文化が融合して生まれたとされる室町時代中期の文化を［　③　］文化という。

Ｃ　城郭建築に象徴される［　④　］文化は，天下人や大名，豪商の気風を反映して，豪壮，華麗，大胆などと形容されることが多い。

Ｄ　鎖国の確立，社会の安定と経済の発展により日本独自の文化が成熟し，また学問が重視されて合理的精神が浸透したことを背景として，上方を中心に町人文化が花開いた江戸時代前期の文化を［　⑤　］文化という。

Ｅ　江戸時代後期に江戸を中心に全国的に町人文化が広まり，文芸が庶民の娯楽として発達し，また儒学，国学，蘭学などの学問が著しく進展した。文化・文政年間を全盛期としたことから［　⑥　］文化という。

(1)　空欄①に当てはまる文化史の区分名を漢字で正しく答えよ。

(2)　空欄②に当てはまるものを次の中から二つ選び，記号で答えよ。

ア）玉虫厨子，　イ）興福寺仏頭，　ウ）正倉院宝庫，

エ）高松塚古墳壁画，　オ）興福寺阿修羅像

(3) ［　③　］文化の説明として適切でないものを次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）戦乱の京都を離れて守護大名のもとへ身を寄せた文化人により文化の地方伝播が進んだ。

イ）慈照寺銀閣はこの文化を代表する建築である。

ウ）この時期に能，茶道，華道，連歌など多様な芸術が花開いた。

エ）洛中洛外図屏風に如実に表されている。

(4) ［　④　］文化の時期に活躍した絵師を次の中から二人選び，記号で答えよ。

ア）狩野正信，　イ）狩野永徳，　ウ）長谷川等伯，　エ）円山応挙，

オ）尾形光琳

(5) ［　⑤　］文化の代表的な文芸作品を次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）浮雲，　イ）御伽草子，　ウ）東海道中膝栗毛，　エ）日本永代蔵，

オ）雨月物語

(6) ［　⑥　］文化の説明として適切でないものを次の中から一つ選び，記号で答えよ。

ア）寛政の改革で倹約が求められたことへの庶民の不満も背景にある。

イ）滑稽本・黄表紙・人情本が流行した。

ウ）連歌から独立したジャンルとして広まった俳諧が松尾芭蕉によって大成された。

エ）政治・社会の出来事や日常の生活を風刺する川柳が流行した。

理 工 学 部
人間生活学部
保健福祉学部　選択
総合政策学部
文　学　部

日本史探究

Ⅰ期A日程

Ⅰ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		(6)		(7)
				⑤	⑥	⑦	⑧	
ウ	ウ	イ	ウ	オ	イ	ウ	オ	大宝(律)令

Ⅱ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
ウ	ア	エ	イ	オ	下剋上

Ⅲ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
エ	オ	禁中並公家諸法度	ウ	河村瑞賢

(6)						
C	→	D	→	B	→	A

Ⅳ

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	
				①	②
イ	兵庫（神戸）	ア	ウ	ウ	オ

Ⅴ

(1)	(2)		(3)	(4)		(5)	(6)
白鳳	イ	エ	エ	イ	ウ	エ	ウ